

4月10日

# 高齢者接種ワクチン 6月中旬に供給見通し

河野担当相表明 3600万人分



河野太郎行政改革担当相は9日の記者会見で、米ファイザー社製の新型コロナウイルスワクチンについて、6月中旬に65歳以上の高齢者（約3600万人）の2回接種分を全国の自治体に供給できる見通しが立ったと発表した。供給のめどがついたワクチンは、高齢者に必要な分を上回るという。高齢者の次に基礎疾患のある人への接種が控えるが、河野氏は「人口の小さい自治体は、早いうちに基礎疾患の人へ移行できる」と語った。高齢者向けの接種は4月12日から始まる。

【堀和彦】